

『環境エンリッチメントを考えよう！』

この事前配布資料では、8月10日の講座をより深く、より楽しく学ぶために、動物園や動物園動物のことや、動物園で良く使われている言葉を解説しています。また、当日にみなさんが観察する「コツメカワウソ」が、どのような行動をするのかを予想するワークシートもありますので、ぜひ挑戦してくださいね！

講座本番前に知っておこう！

動物園の4つの役割

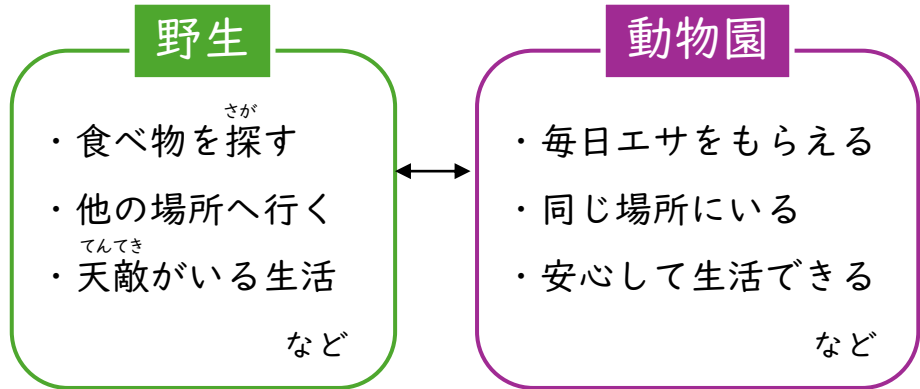
動物園の社会的役割として、「種の保存」「調査研究」「教育普及」「レクリエーション」があります。希少動物の保全や、生きている動物を通して動物の生態や現状を伝え、普及啓発していく役割を担っています。

アニマルウェルフェア（動物福祉）

アニマルウェルフェアとは、「動物の心と体の状態」を意味します。良いアニマルウェルフェアは、動物たちの本来持つ能力を引き出し、生き活きとした行動の発現や、健全な繁殖にも繋がります。そのため動物園では、動物のより良いウェルフェア（=動物の心と体が健康かつ幸福であり、飼育環境とも調和している状態）となるように取り組む責任があります。

飼育下と野生下の違い

動物園では安心して生活することができますが、本来の暮らしている野生の環境（生息地）と比べると、狭い場所で暮らしています。また、野生とはちがいで、獲物をつかまえたり、他の場所に行ったりすることができません。やりたいことができない・避けられないことが動物たちのストレスになることがあります。



安心安全だけど
ストレス???

動物園では動物たちが心地よく過ごせるような工夫をしています。例えば、自然な環境や、運動できるスペースを作るなど、動物たちが健康で幸せに暮らせるようにしています。このような取り組みの一つに『環境エンリッチメント』があります。

環境エンリッチメントを通して

- 動物が本来の行動・能力を引き出せるようにする
- 動物自身が考えて動くことができるよう選択肢を増やす
- 日々の生活に変化を^{あた}与える

例えば・・・

前肢を使った行動を引き出し、時間をかけてエサを食べてもらうために行った環境エンリッチメント



ササ製のリースをいじる
ブラッザグエノン



トウ(ラタン)製のボールの中からエサを
取り出すクロシロエリマキツネザル

千葉市動物公園HP【環境エンリッチメントの取り組み】も見てみよう→→
(<https://www.city.chiba.jp/zoo/news/2023kankyoudenriccimento.html>)



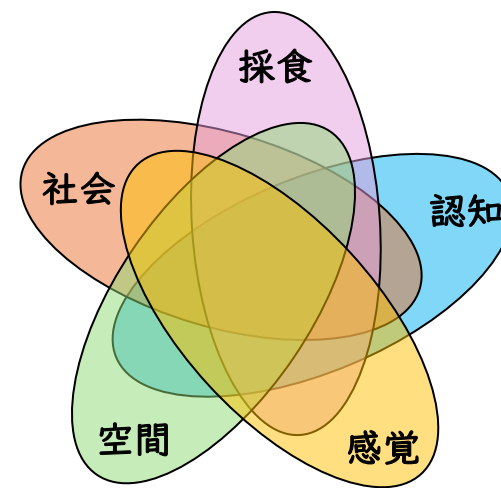
『環境エンリッチメント』とは

動物の身体的・心理的な健康のために、「動物の環境や管理方法を、動物の生息環境や行動に基づいて改善・向上させるための工夫」のことを言います。この工夫は5つのカテゴリーに分類されます。1つのエンリッチメント(取り組み)は、複数の要素が組み合わさっていることがほとんどです。

感覚 採食 認知



人工アリ塚の中に入っている
代用食のミールワームを前肢を使って
掻き出すミーアキャット



環境エンリッチメントの5つの工夫

講座の内容

おいしい氷をコツメカワウソにあげよう

みつど 高密度の毛皮

ドライスーツのような毛皮で、水中でも皮膚が濡れにくく体温が逃げにくいです

するど 鋭い歯と丈夫なアゴ

えもの獲物のエビやカニのかたいカラをかみ砕きます

器用な手先

石の下にいるカニやカエルなどを前肢を使って探します

コツメカワウソ

野生のコツメカワウソは、インド、中国、東南アジアの河川の周辺などに生息していて、1日の多くの時間を食べ物探しに費やしています。AZA(アメリカの動物園水族館協会)で推奨される飼育環境の気温は22.2~24.4℃です。

動物園では、食べ物を探す必要がなく、与えられるエサは食べやすい形や大きさになっていることもあります。

コツメカワウソにとって千葉の夏はとても暑いです。動物園では、移動できる範囲が飼育場所に限られるため、夏の暑い時期に、涼しい場所で過ごせないことがあります。

時間をかけて魚を取り出したり
食べたりしてもらうため、暑い夏
を涼しく過ごしてもらうため、「魚
が入った氷」をあげるエンリッチ
メントを行います。



おいしい魚が入ったひんやり冷たい氷をかじるコツメカワウソ

① コツメカワウソがどんな行動をするか予想してみよう!

例えば・・・

- ◆ 氷をかじる
- ◆ 氷を水につけてとく
- ◆ 魚を食べる
- ◆ 氷に気がつかない
- ◆ その他

※予想を申込のアンケートで教えてください。ワークシートにも書いてね。

② 観察をしてエンリッチメントの改善点を考えてみよう!